

在宅医療のオンライン診療導入モデル事業について

1 目的

訪問診療にオンライン診療を導入するモデル事業を実施し、対面診療と併用するオンライン診療にかかる標準的なフロー（在宅型・施設型）を策定するとともに、課題の抽出や有用性の検証を行う。

在宅医療の関係者等へ検証結果を報告し、新たに訪問診療に取り組む医療機関の増加や感染症発症時の早期対応など訪問診療の量・質ともに拡充を図り、将来的な医療ニーズの増加を見据えた在宅医療提供体制の強化を目指す。

2 実施期間

令和5年7月～12月（6か月） ※左記をモデル期間とするが医師の判断で継続も有

3 実施内容

○対象は、高齢者人口に対し訪問診療を行う医師数が少ない地域、または医療機関から患者宅への移動に時間を要する地域などにおいて、モデル事業に協力が得られる医療機関

○医師が適切と判断し患者の同意が得られた場合において、対面診療と併用する形でオンライン診療を導入

- a. 状態が安定している患者→対面2回のうち1回をオンライン
- b. 診療回数の増加が望ましいが実施できていない患者（状態不安定、遠方など）
→通常の対面にオンラインを追加
- c. 施設入所者→通常の訪問診療や緊急対応時にオンラインを活用

○原則、訪問看護師が患者宅で状態観察とともにタブレット画面を操作する（D to P with N方式）が、薬剤師・ケアマネジャー・施設職員や患者家族による操作も想定

○医師・訪問看護師（施設職員等）・患者（家族）に対してアンケート・ヒアリング調査を行い、オンライン診療の効果や課題等について検証

4 協力医療機関

協力医療機関		自宅		施設		通信手段
		訪看	家族	人数		
東区	山の下クリニック	3	3	2	12	Net 4U Meet
江南区	横田内科医院	1				Net 4U Meet
秋葉区	五十嵐医院	3	2	1		LINE
西蒲区	西蒲中央病院			2	3	LINE
計		7	5	4	15	

5 初回の実施件数 (R5.9.13 現在)

患者宅6人、4施設 (7月20日～8月25日初回実施)

6 初回アンケート結果

(1) 回収数

	アンケート対象	対象数	回収数
医師	自宅：患者毎	6	6
	施設：施設毎	4	4
訪看	患者毎	5	5
施設	施設毎	4	3
患者	患者毎	5	5

(2) 満足度 (件)

		大変満足	概ね満足	少々不満	不満
医師	自宅		5	0	1
	施設	1	2	1	
訪看			3	2	
施設			3		
患者		2	1	2	
計		3 (13.0%)	14 (60.9%)	5 (21.8%)	1 (4.3%)

(3) オンライン診療実施により感じた課題・メリット

① 課題

- ・スケジュール調整 (訪問看護・介護との調整、診療時間の設定、患者の生活リズム、施設内スケジュールと人員配置)
- ・機器の導入・設定機器 (操作に不慣れ、訪看一人でのカメラ操作とデータ報告)
- ・通信環境 (タイムラグ、画像の乱れ、聞こえにくい)
- ・診療内容 (患者への説明に時間を要する、得られる情報に限りがある、画像からは微妙なニュアンスが分かりづらい、生活感・清潔感・ADL 変化等観察不十分、支援者が家族の場合の介護者の理解・精度等考慮が必要)
- ・コミュニケーションの取り辛さ (難聴、認知症)
- ・患者の満足度 (直接会えない)

② メリット

- ・ 医師の負担軽減・効率化（移動時間削減、支援者から事前情報あり、
高齢者施設では多くの方を同時に診療できる）
- ・ 高齢者施設の場合、職員の負担軽減
- ・ 訪問看護師の同席により本人・家族が話しやすい
- ・ 医師の指示がその場で得られ、患者家族と共有できる
- ・ 医師と看護師との連携が強化
- ・ 看護師の連絡時間短縮

(4) オンライン診療全体を通しての所感、課題、意見等

- ・ 多疾患を持つ患者では、微妙な変化をいかに把握するか、検討が必要（医師）
- ・ 緊急時の対応、関連病院との関係構築（医師）
- ・ 訪問でご足労をかけるという申し訳なさがオンラインだと軽減（家族）
- ・ ビデオ通話で先生とやりとりできるのはすごく楽でいい（家族）
- ・ 耳が遠い患者は職員が付くことで特に問題は感じなかった（施設）

(5) オンライン診療を取り入れた訪問診療実施医療機関の拡大に向け、
必要と思われる取組み

- ・ 診療に取り掛かるまでの準備の簡便化、マニュアル整備、フローチャート作成など（医師）
- ・ 訪問診療に消極的な医師へ、診察室に居ながらにして簡潔に出来ることをアピール（医師）
- ・ 訪問看護や施設職員へもオンライン診療の有効性などを説明する機会（成功事例の紹介、
情報共有、事例検討、モデル事業の継続）（医師）
- ・ 研修会の実施（不慣れな医師や看護師には拒否反応がみられると思う）（訪看）
- ・ ご本人、受診に付き添うご家族や職員なども負担が減るので、ぜひ選択肢を広げていただ
きたい。内科だけでなく、耳鼻科や皮膚科もオンライン診療があると助かる（施設）
- ・ 感染症の疑いがある患者の診察についてお互いに安心して実施できるのでより有効だと思
う（施設）

6 今後のスケジュール

年月	内容
令和6年1月	・ アンケート・ヒアリング調査
2月	・ 調査結果とりまとめ ・ 今後の方向性の検討
3月	・ 「在宅医療・在宅ネット運営協議会」にて事業報告